

運賃改定の申請について

豊橋鉄道株式会社では、令和元年 7 月 2 日、中部運輸局あての鉄道事業および軌道事業の旅客運賃の上限変更認可申請を行いましたので、お知らせいたします。

1. 改定の内容

(1) 変更する理由

軌道東田本線は、昭和 40 年前後の年間 900 万人を超えた輸送人員が、モータリゼーションの進展に加え、人口減少、少子化等社会構造の変化に伴い、平成 29 年度 307 万人とピーク時の約 3 割まで減少しております。

これまで一部不採算路線の廃止や要員、賃金体系の見直しによるコスト削減等の経営合理化をはじめ、IC 機器導入による利便性向上、各種イベント電車の企画等積極的な営業施策の展開などに取り組んできたものの、営業収支は昭和 61 年度以降平成 18 年度を除き、営業赤字が続いております。

この先も営業努力は継続してまいります。老朽化設備の更新等により損失の計上がこれまで以上に見込まれ、企業努力のみでは収支改善が困難であり、今後の安全輸送の確保と更なる利便性向上、経営の安定化をはかるため上限運賃の変更を申請するものです。

また、鉄道渥美線につきましても、消費税上昇分を考慮した運賃改定を行いますが、公平な転嫁の観点から踏まえて調整を行う区間を考慮し、遠距離利用者に過大な負担が生じる事態を回避するとともに、定期運賃の計算方法の統一、長期定期乗車券の割引率の引き上げなど、利用者負担の軽減をはかることを目的として、区間旅客運賃の改定を行いたく申請するものであります。

(2) 実施予定日

令和元年 10 月 1 日 (火)

(3) 改定の概要

渥美線

消費税上昇分を考慮した運賃の見直しを実施いたします。従来遠距離中心の運賃調整を行ってきたことから今回は近距離を中心に調整を実施いたします。新たに 0～2 キロ

までの運賃区間を新設し運賃を据え置くほか、調整対象の4区間以外の12区間は運賃を据え置きます。また、区間ごとに異なっていた定期運賃の計算方法を統一するほか6箇月定期券に対する割引率を引き上げます。従って定期乗車券のご利用区間、ご利用期間によっては値上げまたは値下げになります。

普通旅客運賃（大人）変更分のみ

区分	現行	改定
2キロまで（新設）	140円	140円
2キロを越え3キロまで	140円	150円
3キロを越え4キロまで	140円	150円
4キロを越え5キロまで	170円	180円
5キロを越え6キロまで	190円	200円
6キロを越え18キロ（終点）まで	（略）	値上げなし

定期旅客運賃（大人1箇月・6箇月のみ 下表の他3箇月あり）一部抜粋**赤字は値下げ**

区分		現行 1箇月	改定 1箇月	現行 6箇月	改定 6箇月
2キロまで	通勤	5,780円	5,880円	32,950円	32,820円
	通学	4,130円	4,200円	23,550円	23,440円
2キロを越え3キロまで	通勤	5,780円	6,300円	32,950円	35,160円
	通学	4,130円	4,500円	23,550円	25,110円
3キロを越え4キロまで	通勤	5,890円	6,300円	33,580円	35,160円
	通学	4,220円	4,500円	24,060円	25,110円
4キロを越え5キロまで	通勤	6,810円	7,560円	38,820円	42,190円
	通学	4,870円	5,400円	27,760円	30,140円
5キロを越え6キロまで	通勤	7,710円	8,400円	43,950円	46,880円
	通学	5,510円	6,000円	31,410円	33,480円
）		（略）	（略）	（略）	（略）
8キロを越え9キロまで	通勤	11,800円	11,760円	67,260円	65,630円
	通学	8,420円	8,400円	48,000円	46,880円
9キロを越え10キロまで	通勤	13,160円	13,020円	75,020円	72,660円
	通学	9,400円	9,300円	53,580円	51,900円
）		（略）	（略）	（略）	（略）
13キロを越え14キロまで	通勤	17,690円	17,640円	100,840円	98,440円
	通学	12,640円	12,600円	72,050円	70,310円

14 キロを越え 15 キロまで	通勤	19,050 円	18,900 円	108,590 円	105,470 円
	通学	13,610 円	13,500 円	77,580 円	75,330 円
15 キロを越え 16 キロまで	通勤	19,950 円	19,740 円	113,720 円	110,150 円
	通学	14,260 円	14,100 円	81,290 円	78,680 円
16 キロを越え 17 キロまで	通勤	21,320 円	21,000 円	121,530 円	117,180 円
	通学	15,230 円	15,000 円	86,820 円	83,700 円
17 キロを越え 18 キロまで	通勤	22,230 円	21,840 円	126,720 円	121,870 円
	通学	15,880 円	15,600 円	90,520 円	87,050 円

東田本線（市内線）

消費税率改定に併せて経営の改善も含めた運賃の見直しを実施いたします。また定期運賃の計算方法を渥美線に併せて変更するほか 6 箇月定期券に対する割引率を引き上げます。

普通旅客運賃（大人）

	現行	改定
全線均一	150 円	180 円

定期旅客運賃（大人 1 箇月・6 箇月 下表の他 3 箇月あり）

区分		現行 1 箇月	改定 1 箇月	現行 6 箇月	改定 6 箇月
全線均一	通勤	6,350 円	7,560 円	36,200 円	42,190 円
	通学	4,540 円	5,400 円	25,880 円	30,140 円

（4）増収率一覧

定期外	定期			合計
	通勤	通学	定期計	
3.72%	3.05%	▲0.50%	1.26%	2.74%

2. 収支の実績および推定

（単位：千円 税別）

項目	2017 年度 実績	2020～2022 年度（3 年間平均）	
		現行	改定
収入	1,664,162	1,612,372	1,704,777
支出	1,635,178	1,838,629	1,838,629
差引	28,984	▲226,257	▲133,852
収支率	101.77%	87.69%	92.72%

3. 運賃収入内訳

(単位：千円 税別)

項目	2017年度 実績	2020～2022年度（3年間平均）	
		現行	改定
定期外	943,898	917,808	978,932
定期	621,657	598,152	629,433
合計	1,565,555	1,515,960	1,608,365

4. 需要見通し

(単位：千人)

項目	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (推定)	2019年度 (推定)	2020年度 (推定)	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)
定期外	5,102	5,088	5,092	5,074	5,037	5,025	5,013
定期	5,638	5,781	5,690	5,649	5,601	5,569	5,518
合計	10,740	10,869	10,782	10,723	10,638	10,594	10,531
対前年度比	100.3%	101.2%	99.2%	99.5%	99.2%	99.6%	99.4%

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：千円 税別)

項目	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (推定)	2019年度 (推定)	2020年度 (推定)	2021年度 (推定)	2022年度 (推定)
安全対策	190,485	441,252	228,419	776,075	451,441	499,277	504,942
サービス改善等	19,050	34,271	19,856	145,869	92,467	9,800	5,500
合計	209,535	445,523	248,275	921,944	543,908	509,077	510,442

(2) 主な取り組み計画の内容

ア. 渥美線橋梁耐震化工事

- ・目的 橋桁の補強や落橋防止工事を継続いたします。
- ・効果 南海トラフ地震等の巨大地震に備え、橋桁の補強や落橋防止工事を実施し、安定輸送の確保に努めるほか、類災を未然に防止します。



イ. 駅停留場バリアフリー化工事

- ・目的 お客さまが快適にご利用いただけるよう、スロープや柵の設置を進めます。昨年度は東田本線前畑停留場について実施しましたが、本年は渥美線南栄駅の完成を目指すほか、次の計画の準備をいたします。
- ・効果 安全・安心・快適に電車をご利用いただけるようになります。お年寄りや小さなお子さま連れなど、お客さまの利便性が向上いたします。



ウ. 780形車両制御器更新工事

- ・目的 東田本線の主力車両である780形については製造後20年を経過しVVVFインバータをはじめとする電子機器の老朽化が目立ってきたことから、これを順次大規模修繕いたします。
- ・効果 経年劣化を原因とする故障発生を未然に防止するとともに、安定運行を進めます。



エ. 東田本線東田変電所の改築

- ・目的 将来にわたって安定運行を続けるため老朽化の進んだ東田変電所を更新します。
- ・効果 機器の更新により送電効率の上昇や、移転に伴う跡地の活用、市内線営業所の改築など東田本線の経営資源の有効活用を目指します。



オ. ICカードシステムの更新

- ・目的 現在運用中のICカードシステムについて順次機器の更新を進めます。
- ・効果 セキュリティの向上や今後のシステム発展に対する追従性の向上など、これからも全国公共交通ICカードを便利にお使いいただけるよう、改良を進めます。

6. これまでの経営合理化の状況および今後の取り組み

これまで、賃金体系の見直しや退職金制度の変更などの人件費抑制や再雇用者の活用、業務の見直しなど経費の削減、経営合理化に取り組んでまいりました。

一方、施設面では全線において全国共通交通系 IC カードシステム『m a n a c a』の導入、渥美線の 1500V 昇圧や車両および変電所の更新、東田本線（市内線）の L R V（ほつトラム）導入など安全・安心・安定輸送にかかわる投資を行ってまいりました。今後につきましても、東田本線の変電所更新や各所のバリアフリー化、軌条の重軌条化など引き続き安定輸送の確保とサービスの改善に努めてまいります。

7. 運賃に関するサービス向上策と取り扱いの一部見直しについて

（1）定期乗車券割引率の見直し

渥美線・市内線とも従来は 3 か月定期券 6 か月定期券ともに 1 か月定期券運賃の月数倍に対し 5%引きであったものを、6 か月定期券については 7%引きへ割引率を増加します。

（2）定期乗車券運賃算出方の見直し

定期乗車券については表定制運賃を採用していることから、従来からの消費税率変更ではそれぞれの定期乗車券運賃ごとに改定税率に基づいた運賃の見直しを実施してまいりました。このため、遠距離かつ長期間有効の定期乗車券をご利用されるお客さまほど運賃改定幅が大きくなっていました。今回も従前同様の計算を行った場合、さらに改定幅が大きくなっていくことから、今回、基本的な運賃計算（ご利用区間の往復運賃をもとに一定の割引計算を実施する）を適用いたします。

（3）学期定期券の廃止

鉄軌道線の学期定期券は、I C 定期券への切り替えとそれに伴う他社線との連絡定期乗車券への移行に伴いご利用のお客さまが次第に減少しており、今回の運賃改定にて定期乗車券の計算方法見直しと割引率の変更を行う事から、学期定期券については取り扱いを廃止いたします。

8. お問い合わせについて

（1）運賃改定申請、及び運賃、時刻表に関するお問い合わせ先

豊橋鉄道 鉄道部 運輸営業課 0532-53-2136（平日 9：00～17：00）

（2）豊橋鉄道ホームページ

<https://www.toyotetsu.com/>

この資料に対するお問い合わせ先 豊橋鉄道株式会社 鉄道部 運輸営業課 電話 0532-53-2136 平日 9：00～17：00
--